

貸付限度額等計算書

防衛省共済組合
市ヶ谷センター所属所長 殿

所 属 _____
階 級 _____
氏 名 _____ 印 _____
所属部隊内線番号 _____
私有携帯電話番号 _____

1 月収額

俸給	俸給の特別調整額	初任給調整手当	扶養手当	研究員調整手当	地域手当	合計
① 円	円	円	円	円	円	② 円

※学生手当、生徒手当及び自衛官候補生手当は「俸給」欄に記入すること。

2 弁済額

貸付の種類及び割賦購入品目		借入金等の残高	弁済月額 (利息を含む。)	ボーナス弁済額 (6月分)	ボーナス弁済額 (12月分)
部内 (貸付・物資)		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
	計	円	③ 円	⑤ 円	⑦ 円
部外		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
	計	円	円	円	円
合 計		円	④ 円	⑥ 円	⑧ 円

※ 部内、部外の借入金等の残高は全て正確に記入すること。

「計欄及び合計欄」は『0円』であっても本人が記入すること。

(虚偽の記載をした場合は、法令違反の恐れがありますのでご注意ください。)

3 総貸付限度額

ア 今回申込みの貸付けが、ボーナス弁済を行わない場合

かつ、既貸付等がある場合は、その弁済にボーナス弁済がない場合のみ適用

(1) 部内

①×0.30= _____ 円 \geq ③ ①×0.30= _____ 円 \geq ④

イ 今回申込みの貸付けが、ボーナス弁済を行う場合又はボーナス弁済を行わない場合であっても既貸付等の弁済にボーナス弁済がある場合

(1) 部内

①×0.25= _____ 円 \geq ③ ①×1.50= _____ 円 \geq ⑤、⑦の金額の大きい方

(2) 部内外合計

①×0.25= _____ 円 \geq ④ ①×1.50= _____ 円 \geq ⑥、⑧の金額の大きい方

(担当者記入欄)

普通貸付及び特別貸付の貸付限度額

②×20= _____ 円 \geq 普通貸付及び特別貸付の貸付金残高 _____ 円

所 見	
--------	--

注意 当書式の(担当者記入欄)以外は、組合員本人がペン又はボールペンでご記入ください。

パソコン等で印字されているものはお受けできませんので必ず自筆でお願いします。

計算式等でご不明なことについては担当者にお問い合わせください。

※ 貸付規則及び細則に反しない範囲で、様式に変更を加えることを可能とする。

貸付限度額等計算書

防衛省共済組合

市ヶ谷センター所属所長 殿

所 属 ○○駐屯地○○隊○○班

階 級 3曹

氏 名 共済 太郎

印

所属部隊内線番号 8-1-2345

私有携帯電話番号 012-345-6789

1 月収額

俸給	俸給の特別調整額	初任給調整手当	扶養手当	研究員調整手当	地域手当	合計
①366,300円	円	円	24,500円	円	円	②461,144円

※学生手当、生徒手当及び自衛官候補生手当は「俸給」欄に記入すること。

2 弁済額

貸付の種類及び割賦購入品目		借入金等の残高	弁済月額 (利息を含む。)	ボーナス弁済額 (6月分)	ボーナス弁済額 (12月分)
部内 (貸付・物資)	普通貸付(一般)	890,000円	13,159円	0円	0円
	特別貸付(教育)	1,260,000円	21,848円	0円	0円
	特別貸付(教育)	400,000円	10,386円	0円	0円
	(貸付日の残高)円	(5月源泉)円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	計	2,550,000円	① 45,393円	⑤ 0円	⑦ 0円
部外	○○携帯電話分割購入	50,000円	11,000円	0円	0円
	○○カードローン	600,000円	12,000円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
		円	円	円	円
	計	650,000円	23,000円	0円	0円
合 計		3,200,000円	② 68,393円	⑥ 0円	⑧ 0円

※ 部内、部外の借入金等の残高は全て正確に記入すること。

「計欄及び合計欄」は『0円』であっても本人が記入すること。

(虚偽の記載をした場合は、法令違反の恐れがありますのでご注意ください。)

3 総貸付限度額

ア 今回申込みの貸付けが、ボーナス弁済を行わない場合

かつ、既貸付等がある場合は、その弁済にボーナス弁済がない場合のみ適用

(1) 部内

$$\textcircled{1} \times 0.30 = \text{109,890円} \geq \textcircled{3}$$

$$\textcircled{1} \times 0.30 = \text{109,890円} \geq \textcircled{4}$$

イ 今回申込みの貸付けが、ボーナス弁済を行う場合又はボーナス弁済を行わない場合であっても既貸付等の弁済にボーナス弁済がある場合

(1) 部内

$$\textcircled{1} \times 0.25 = \text{円} \geq \textcircled{3} \quad \textcircled{1} \times 1.50 = \text{円} \geq \textcircled{5}、\textcircled{7} \text{の金額の大きい方}$$

(2) 部内外合計

$$\textcircled{1} \times 0.25 = \text{円} \geq \textcircled{4} \quad \textcircled{1} \times 1.50 = \text{円} \geq \textcircled{6}、\textcircled{8} \text{の金額の大きい方}$$

(担当者記入欄)

普通貸付及び特別貸付の貸付限度額

$$\textcircled{2} \times 20 = \text{円} \geq \text{普通貸付及び特別貸付の貸付金残高} \text{円}$$

所 見	
--------	--

注意 当書式の(担当者記入欄)以外は、組合員本人がペン又はボールペンでご記入ください。

パソコン等で印字されているものはお受けできませんので必ず自筆でお願いします。

計算式等でご不明なことについては担当者にお問い合わせください。

※ 貸付規則及び細則に反しない範囲で、様式に変更を加えることを可能とする。